

令和7年度 学校評価アンケート分析

令和7年12月実施

＜結果と分析＞

	番号	内容	成果・課題等	改善策・向上策・目標等
教育運営部	1	スクールポリシーに基づいた教育課程の編成・実施	本校のスクールポリシーは、総合学科の特色を生かし、生徒一人ひとりの人間性と社会性を育成し、希望進路100%を目指すこと、教育課程の中で普通教科と専門教科の両方を重視すること等である。これらに基づいた教育課程が編成されているかという点に対し、「よく当てはまる」と回答した教員が昨年度43.2%であったが、今年度は5.6%と大きく減少した。	基本的な生活習慣が身につけていない生徒や、一生懸命努力を重ねられる生徒が少なくなっているのが現状であるので、令和10年度に向けて教育課程を見直していく中で、生徒の実態に即した教育課程を編成・実施していきたいと考えている。
	2	学力が身につく授業か	生徒・保護者のとらえ方と教員のとらえ方が異なり、教員は、「よく当てはまる」が昨年度40.9%であったが、今年度は25.9%となっている。生徒、保護者は「よく当てはまる」の割合が増加している。授業を行う側として、もっと学力を身につけられるような授業をしたいと考えていることが読み取れる。	他の先生方の授業を積極的に見直し、良いところは取り入れて、授業改善を重ねて行くことが大切だと考えている。授業公開、合評会を開催し、生徒の学習意欲を引き出せるような授業の工夫を今後も続けていきたい。
生徒支援部	3	挨拶・マナーの指導について	「よく当てはまる」の割合が生徒、保護者、教員ともに微増となり、特に教員の割合が10%程度上がった。教員が日頃からの指導をおこなっていることを自覚し、その結果が生徒、保護者の評価につながったと考える。一方で保護者の「あまり当てはまらない」の割合が昨年度に引き続き高くなっており、改善が求められる。	今後も生徒、教員の評価についても向上できるように引き続き指導に努めていきたい。また、学校の指導を保護者に理解していただき、知っていただく必要性を感じる。学校通信やHP等で身だしなみ検査や制服着こなしセミナー等の取り組みを積極的に発信していく。
進路企画部	4	進路指導は適切か	本年度も進路行事を各年次の実態に即して実施するよう展開した。進路企画部・年次・家庭・職安等との連携を強化したことにより、進路決定について確かな情報発信ができています。一方で、生活や学習に困難を抱える生徒の進路選択が課題となっている。	生徒の進路目標の達成のために、進路指導部・年次・担任・生徒・保護者及び各系列間の連携を密にしながら、共通理解のもとに進め、特に障害者雇用を含む就職については、早い段階からの現場実習を実施することで改善を図る。
生徒支援部	5	必要なときに相談できるか	「よく当てはまる」の割合が生徒、保護者、教員ともに微増となり、「あまり当てはまらない」の割合も保護者を中心に減少しているという結果になった。生徒が積極的にカウンセリングを活用し、保護者にも伝わっており、なおかつ教員もカウンセリングを有効的に活用している現れであると考えられる。	保護者の「あまり当てはまらない」という回答が12.7%あったため、引き続きカウンセリングの取り組みを入学時、進級時に周知すると同時に保護者にカウンセリングの積極的な活用を常日頃から促していく。
	6	部活は活発か	生徒の「よく当てはまる」の割合が増加した。顧問の先生方の熱心な指導とそれに応える生徒の頑張りが見られた結果であると考えられる。一方で、保護者の「あまり当てはまらない」の割合が5.4%増加したため、改善が求められる。	保護者に対して部活動の取り組みを知っていただく機会を増やしていく。具体的には現在も実施しているが、学校通信やHPへの掲載や各部活動毎に定期的に保護者会等を開催し、部活動の取り組みを理解していただく、また部活動に興味・関心をもっていただく機会をつくっていく。さらに中学校訪問での部活動のPRも引き続き行っていく。
	7	生徒会活動は活発か	生徒、保護者、教員ともに「よく当てはまる」の割合が大幅に増加した。担当教員と生徒会生徒の頑張りがこのような結果につながった。特に今年度は生徒会で身だしなみやマナーアップのポスターを作成するなどの取り組みも実施し、生徒会の活動が多くの学校関係者に伝わった結果であると思う。一方で保護者の「あまり当てはまらない」という回答も約10%あり、改善が必要である。	他項目と共通する部分ではあるが、保護者に対して生徒会活動の取り組みを知っていただく機会を増やしていく必要がある。学校通信やHPへ掲載し、生徒会活動に興味・関心をもっていただく機会をつくっていく。
	8	学校行事は有意義か	「よく当てはまる」の割合が生徒で10%程度、保護者で5%程度増加した。体育祭や文化祭が生徒にとってよりよい行事として評価をされた結果であると考えられる。一方で、「あまり当てはまらない」と回答した保護者も増加傾向となったため改善が必要である。	他項目と共通する部分ではあるが、保護者に対して学校行事の取り組みを知っていただく機会を増やしていく必要がある。学校通信やHPへ掲載し、体育祭や文化祭を参観していただくなどの機会をつくっていくことも有効的であると考えられる。
教育運営部	9	地域や伝統に根ざした特色ある学校づくりをしているか	地域や伝統に根ざした特色ある学校づくりへの取り組みに関して、生徒、保護者の40%程度は「よく当てはまる」と感じている。昨年度と比べて増加していることから、行政・企業・近隣の教育機関等との連携を進めた成果があらわれていると考えられる。	各系列の地域連携事業のみならず、「まるもり HARENOBA まるしえへ」の参加を通して系列の枠を超えた連携活動も実施することができた。次年度以降もこの活動をさらに発展させ、地域に根ざした活動に取り組んでいきたい。
	10	災害非常時の避難方法について	8月の宮城県総合防災訓練への準備・参加が計画的に実施できた。生徒達にとって防災を実施する立場での参加は良い体験・意識付けになった。生徒・保護者・教員ともに「よく当てはまる」が昨年度を上回っているのは、その影響だと思われる。反面、生徒・教員の「当てはまらない」が微増している。春季・秋季の避難訓練を点で捉えるのではなく、防災意識が普段から身につけ、その再確認のための避難訓練となるよう、計画できれば良いと考える。	例年実施している避難訓練前の動画の視聴等について、回数を増やして実施することを検討したい。学内での避難経路・方法については担当部署で事前に検討し、教室や特別教室等に掲示したい。また、学校通信やホームページを活用し、学内の防災活動を保護者の目に触れるようにしたいと考える。
	11	学校の情報は適切に伝えられているか	各部署に学校通信作成に協力頂き、学校の様子を詳細に伝えることができた。保護者宛文書その他、ホームページやeメッセージの活用によって、昨年度より「当てはまる」の数値が上がっている。保護者の「当てはまらない」が0となったので、次年度以降もこの活動を継続したい。	各部署・年次等でeメッセージを活用したことが、評価に繋がったと分析する。今後も継続して欲しい。また、PTA総会など学校に足を運んで頂く行事について、直接情報を提供できる良い機会なので、部署内で計画的に準備していきたい。

	番号	内容	成果・課題等	改善策・向上策・目標等
事務部	12	設備が整備されているか	全ての対象者において、肯定的評価が前年度より増加した。古い施設設備は多いが、トイレ改修等、計画的に更新し、また破損・故障等の場合には速やかに対応していることも要因と考える。 課題としては、エアコン更新において、老朽化により機能低下している教室数が県より採択された教室数よりも多いため、更新のスピード化を継続的に要望していきたい。	老朽化した施設設備が多いため、今後も現状把握に努め、引き続き関係各課と連携し、計画的に教育環境を整備していきたい。
生徒支援部	13	いじめの早期発見について	「あまり当てはまらない」「当てはまらない」の割合が生徒では大幅に減少し、教員では0%となった。特に生徒の割合が大幅に減少したことは、教員全体で日頃からいじめ問題に対してアンテナを高くして指導をし、未然防止、早期発見に努めた結果であると考え。昨年度に引き続き、保護者の「あまり当てはまらない」の割合が高く課題だが、いじめアンケートの周知や保護者と密に連絡をとるなどの取り組みが減少傾向に転じたと考える。	引き続き、年4回実施しているいじめアンケートの結果の概要等を個人情報等には留意した形で保護者に知らせるなどの対策をしていきたい。また学校生活の気になる点などを些細なことでも教員間で共有し、保護者にも共有できるように年次会や職員会議においても共有をする場を設けていく。
	14	学校生活は充実しているか	「よく当てはまる」の割合が保護者、教員ともに10%程度増加となり、生徒、保護者において「あまり当てはまらない」「当てはまらない」が減少した。生徒の前向きな学校生活の様子を家庭において保護者とも共有できているのではないかと考える。一方で「あまり当てはまらない」「当てはまらない」と回答している生徒、保護者も少数ではあるがいるので、より評価していただける取り組みが求められる。	生徒の学校生活の満足度がそのまま保護者に還元されると思うので、今後も学校行事等が全生徒にとって満足のいくもので実り多いものになるために実施方法の改善や工夫に取り組んでいきたい。
教育運営部	15	教育目標系列目標の周知	本校の教育目標を・系列目標を理解しているかについて、「よく当てはまる」と「当てはまる」を合わせると、生徒・保護者・教員ともに割合が昨年より増加している。HPやパンフレット等で周知しているので、浸透してきていると考えられる。	スクールポリシーは学校のホームページに掲載されているほか、学校案内パンフレットや入学のしおりなどでも確認することができる。今後も生徒・保護者に対して、学校通信や掲示物等でしっかりと伝えていきたい。
	16	学習方法・計画・評価方法の理解	学習計画や評価方法を理解しているかについて「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した生徒は昨年度の91.5%から95.8%に増加した。年度初めに、シラバスを配布し説明をしていることと、授業の中でも随時説明されているので生徒も理解していると考えられる。	次年度以降も、年度初めや各期の評価の時期にシラバスを確認し、学習方法や評価方法について丁寧に教科担当者から説明を行っていききたい。保護者に関しては、三者面談等を通して周知していききたい。
	17	選択教科の説明は十分か	科目選択の際に十分な説明を受けて選べたかという質問に対し、「よく当てはまる」、「当てはまる」と回答した生徒は昨年度と大きな変化はなく、97.5%であった。保護者に関しては、「よく当てはまる」との回答が18.2%から32.7%に増加した。	次年度以降も、科目選択の際に科目の内容を十分に理解した上で選択できるよう、各教科から科目の学習内容、評価方法についてより詳しい説明を行っていききたい。
生徒支援部	18	校則を理解しているか	「よく当てはまる」と回答をした生徒の割合が増加し、「当てはまらない」と回答した生徒がわずか、教員が全て「当てはまる」「だいたい当てはまる」に回答したことは校則について日頃の指導によって周知ができている表れであると思う。この周知を徹底できるかどうかが課題である。また保護者の「あまり当てはまらない」の回答も増加していたので周知が必要である。	周知したことを生徒が徹底できるように、日常生活指導の中で全教員で協力して指導を行っていく体制作りが大切であると考え。特に諦めないで言い続ける姿勢が生徒の変容につながると思うので、そのような指導を全教員で心掛けていきたい。また生徒だけでなく保護者への校則の周知を入学時だけでなく、一斉メールなどのツールを活用して行っていく。
進路企画部	19	情報提供について	行事の見直しを継続して行い、情報提供に関しても各年次に合わせたものを行った。生徒・保護者から高評価を得られた。教員への情報提供の数値が下がっていることが課題と考える。	面談期間に限らず、生徒・保護者への情報共有を中心として、引き続き進路だより等の資料提供、外部作成の就職情報冊子の配付などを行う。教員の情報提供については、企業や上級学校の訪問・応対に積極的に携わってもらうことで、社会が求める人材や実情について知る機会を設ける。
	20	進路指導の結果、自分の将来と向き合っているか	生徒・教員から高評価を得られたが、保護者の評価数値が下がっていることが課題と考える。	進路行事については、今後も外部講師や卒業生の方の協力を得ながら企画し、数年後の自分を考えさせるきっかけになるよう指導していきたい。特に1年次からの3年間継続した進路指導が最も重要であり、面談を多く活用して進路に対する意識改革を行っていく必要がある。
生徒支援部	21	安全・健康への配慮	昨年度と比較をしても大きな変化は見られなかったが、「あまり当てはまらない」「当てはまらない」と回答した生徒が微減となった。さまざまな安全があるが、怪我をした際の救急車等の対応やカウンセリングやいじめ対応等の心のサポートの充実を図れたのではないかと。	保護者の「あまり当てはまらない」という回答が昨年同様10%弱あったので、安心・安全な学校であるということを身体面・精神面で感じていただけるように、引き続き怪我の対応やいじめ対応についてフローチャートの共有や保護者への理解を促していきたい。
教育運営部	22	図書館の利用	昨年度設置した「ミニ図書館」の展示を定期的に入れ替えている効果もあってか、「よく活用している」と回答した割合は生徒・保護者・教員共に増えている。特に、教員の活用率は昨年度に比べて大きく増えており、教科・系列の学習内容を意識した選書の効果が見られる。ただし、「活用していない」と回答した生徒・保護者の割合は昨年度より増加しており、積極的に図書館を利用しない層への働きかけが求められる結果となった。	図書館だよりの内容のより一層の充実や、掲示物による図書館の認知度を上げる工夫を引き続き行っていきたい。特に図書館だよりは今年度の途中から保護者へ向けてeメッセージで配信も行っているため、外部へも図書館の活用例がわかるような工夫を加えていく。また、図書委員の活動で、各クラスへの声かけや広報活動なども利用のきっかけとしていきたい。